

2022. 10. 17

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

- 植物モニタリング活動 11/7、11/14 9:00 ため池公園スタート（沖山地区臨時活動あり）
- 赤塚公園ニリンソウを守る会（どんぐりまつりが予定通り実施された場合）
10月第2回例会=10/30 10:00 大門観察台
★いずれも、飛び入り参加歓迎！ 雨天は小雨でも中止
- 赤塚公園どんぐりまつり 10/23 10:00~15:00 中央地区サービスセンター前
<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

ため池公園の中州におく犬登場！ いや、恐竜かも。クズの芸術



10/17のモニタリングは雲が低く垂れこめて、今にも雨になりそうなお天気でした。スタート時の9:00現在で21.3℃とかなり涼しくなってきましたが、それでも身体を動かすと蒸し暑さを感じる変な気候です。こんな天気でも8名が参加。みなさん、元気です。

午後には沖山地区の生物多様性保全エリアの手入れもしようと打ち合わせていたのですが、11:00頃からは小雨が降ってきて、観察だけで切り上げました。



開花している植物は少なくなったけれど……



←足元をよ〜く見れば、敷石の隙間から健気に咲いている**トキワハゼ**。

ちょっと上を見上げれば、**センニンソウ**が白い仙人のひげのような花をまだ咲かせていました。→

↓普段は見逃している実も



←左の2枚。左は仏炎包が枯れて中身が露出した**カラスビシャク**の実、右は葉に隠れて見つけにくい**アマチャヅル**の実。濃い緑色が光ってとてもきれいでした。

今の時期だから見られる春の花の冬越し姿→

10/10のレポートでも紹介しましたが、現場では見分けがつかず、写真に撮ってみると二つとも同じように見える厄介な右の2種。多分、上が**セントウソウ**で、その下が**ムラサキケマン**の展葉だと思いません(自信なし。頼りなくてすみません)。

下の2枚は簡単。キク科の越冬姿。左が**アメリカオニアザミ**、右が**タンポポ**(ただし、交雑種なのかなど、詳しい種別は葉だけではわかりません)。



春の代表的な花も、もう葉を展開しています。下段の2枚、左は**オオイヌノフグリ**、右が**ヒメオドリコソウ**。もしかしたら、冬の間にも咲いてしまうかもしれません。

